



スムーズな画像編集や 2画面表示で、 テレワークの生産性を確保



スポーツ店を運営するムラサキスポーツでは、店舗の管理部門にTeamViewerを導入した。お客様が来店し、商品を購入していく小売店での業務にテレワークは馴染みにくいため、全国に150弱ある店舗の経理業務や、店内販促ツールといった後方支援業務について導入、高い成果を挙げている。

ムラサキスポーツでは過去にテレビ会議などを導入したこともあるが、お客様と接する小売業でもあり、人ととの対面のコミュニケーションを重視してきた。全国の店舗の店長会議も、数ヶ月に一度、出張費をかけてまで東京の本社に集まって行なってきたのは、管理本部部長 杉原健一郎氏によれば「時間やコストなどのデメリットがある一方でメリットがあるというプラスの面が大きい」という判断があつてのものだ。

過去にはテレビ会議を導入したこともあるが、当時は性能も十分でなかったことから使用をやめて10年以上が経過、外部作業する従業員のためにVPN環境などを構築するなどIT環境を整備してはいたものの、対面でのコミュニケーションが主であることに変わりはなかった。

しかし、2020年からはじまった新型コロナウイルスの影響から風向きが変わった。「在宅勤務や、店舗の臨時休業があり、直接社員と対面するのが難しいとなって、これまでのやり方の負の部分が大きいという意識が顕在化した」という。



目的

2020年の緊急事態宣言で出社を控えるなか、安定したテレワークを実現するツールが必要だった。恒常にテレワークする体制をとるかどうか、今後の方針が定まらないなか、すぐに使え、動作も快適なテレワークのツールが必要だった。

効果

検討したツールの中では、TeamViewerは優れた操作性をみせた。外部から画像編集ソフトを操作する際にスムースなマウスカーソルの移動を実現するなど、社内にあるPCを、社内で直接操作することと同様に操作することが可能になった。

TeamViewerの個人利用経験から、導入を決定

すでに利用していたVPNのシステムも同時接続数などの問題もあり、日常的に行われるようになったテレワークの業務には耐えられないこともわかってきた。そこで、試したもののは各種リモートのツールとなる。オフィスに置いてあるPCに外部から操作するツールは無料で利用できるものを含めていくつかあったが、検討するなかで、杉原氏が個人的に4~5年に渡って使っていて、使い勝手の点で評価していたTeamViewerも候補として検討に入っていた。

いくつかの業務を試すなかで特に違いが顕著なのは、店

舗のPOPや販促ツールなどを作成する業務。AdobeのPhotoShopなどのソフトを駆使して画像を作成していくが、ここで大きな差が出てくる。

リモートの画面上では、リモートツールによってはマウスの動きがスムースではないこともある。なかにはカクカクとした動きで、とてもクリエイティブを作成する気になれないものもあった。

その点、TeamViewerは違った。微細で複雑なマウスの動きにも追従、各種作成ソフトの入っているオフィスのPCを自宅から操作しても、問題なく作成作業が可能。制作を担当するスタッフから「操作がスムースでないツールは勘弁してください」との声もあり、TeamViewer以外の選択肢はなかったという。



従業員の評判も上々、 在宅での勤務がよりスマーズに



株式会社ムラサキスポーツ
管理本部部長 杉原健一郎氏

TeamViewerを導入した効果としては、これまでのVPNのシステムと違って人数分のライセンスが確保でき、ずっと会社のPCに接続しっぱなしにできること。VPNでは接続数制限にひっかかり、やむを得ず出社するということもあったが、それもなくなった。数値的な効果はないものの、リモートで落ち着いて作業ができることで、業務をするスタッフの通勤しなくていいというストレスの低減もあった。

リモート対応に加えて、業務の意識も変わってきた。ハンコが必要だったワークフローの変更や、郵送で行っていた書類のやりとりをメールに置き換える検討を進めている。これも、リモートワークが滞りなくできるようになった効果だ。

その結果、業務に影響なく従業員の出社日も大きく減り、「もう少しきれば?」などと冗談が飛び交うまでになっている。



会社のPC環境を家でそのまま再現

リモートワークが進むことで、在宅での業務を充実させるため、会社にあった液晶ディスプレイを自宅に持ち込み、デュアルディスプレイで作業することも浸透してきた。

経理の業務では、領収書と入力画面を見比べることが多いが、リモートで作業する場合、取り込んだ領収書を片方の画面に表示させ、もう片方に表を表示させて見比べるといった作業がやりやすくなる。

TeamViewerでは会社側のPCも、表示させる手元のPCも複数のディスプレイに対応しており2画面のままリモートできることは業務にプラスだという。

また、TeamViewerは会社のPC環境がそのまま再現できることに加え、操作性や反応もリモートであることを意識できないくらい使い勝手がよいとの声がある。そのため、家のPCからアクセスした場合に、家のPCと会社のPCの区別がつきにくくなり、間違えそうになったという声も聞かれた。

そんなこともあり、現在では、個人のPCに依存するのはあまり良くないと判断で、ひとり2台体制になりつつあるとのことだ。

ムラサキスポーツ

1968年創業のスポーツ用品店、古くからスケートボード、ローラースケートを扱い、東京・上野や原宿のショップは若い世代で賑わいを見せた。現在は全国に150弱の店舗を開拓、主力商品はサーフィン、スケートボード、スノーボード。ムラサキスポーツならではの品揃えのECサイトも好評。

個人は無料、商用なら14日間の無料トライアルがあります。

<https://www.teamviewer.com/ja/download/>



TeamViewer (チームビューワー) について

チームビューワーはConnected Operational Technologyのグローバルリーダーです。PC、モバイル端末、工場の機械やロボットなどあらゆる人やもの、そして場所や時間を問わず世界のユーザーの接続を可能にしています。『TeamViewer』は個人向けには無料で、現在の有料登録ユーザーは50万人以上。法人は中小企業から大企業まで、あらゆる業種の企業のデジタル化の推進を支援しています。デバイスの分散化、自動化、ニューノーマルといった環境の変化に対応し、チームビューワーではAR、IoT、AIの分野でのデジタル・トランスフォーメーションやイノベーションを推進しています。2005年に会社設立以来、『TeamViewer』をダウンロードしているデバイスは現在 25億台となっています。本社はドイツのゲッティンゲン、従業員は全世界で約1,200名。TeamViewer AG(TMV)はフランクフルト証券取引所に上場、MADAX株式指数構成銘柄となっています。TeamViewerジャパン株式会社はTeamViewerの日本法人として2018年に設立。

